

## 「いのちを実感し親になることを考える体験学習」プロジェクト（Ⅱ）報告書

神戸大学大学院総合人間科学研究科  
ヒューマンコミュニティ創成研究センター子ども家庭支援部門 伊藤 篤

### はじめに

昨年度（2005 年度）、子ども家庭支援部門は神戸市から業務委託を受け、「いのちを実感し親になることを考える体験学習」プロジェクトを実施した。これは、学齢期の小・中・高生が赤ちゃんや乳幼児と交流するという、いわゆる「赤ちゃんふれあい体験」「命の感動体験」などと呼ばれる実践のひとつであり、神戸市にある複数の地域リソースが連携することで実現した。当部門を中心に、神戸市灘区保健福祉部、神戸市立福住小学校、灘区内の子育てサークル「ぷりぷり」、神戸市北区助産院「いのち語り隊」といった組織間の協力と、神戸大学発達科学部の学生（看護等の有資格者が中心）や地域の専門職（助産師・保健師等）といった個人的な協力によって実施されるという特色あるプロジェクトであった（このプロジェクトの詳細は、寺村・川谷・伊藤;2007<sup>1)</sup>あるいは、神戸大学ヒューマンコミュニティ創成研究センターのサイトにある部門報告書<sup>2)</sup>を参照のこと）。

このプロジェクト（2005 年度）の効果は、プレ・ポスト型の測定によって検討された。小学6年生が赤ちゃんとのふれあいを体験する6か月前とその体験後1週間の2時点で、「自分の家族・自分の親・自分が親になることに関するイメージ」と「赤ちゃんの成長・発達に関する態度・理解」を文章完成法によって測定した。その結果、前者に関しては「自分が親になることに対する肯定的な態度の形成」がある程度達成され、後者に関しては、「命の誕生を家族だけでなく社会との関係性のなかでとらえる」「赤ちゃんの元気な成長を願う」「泣きや睡眠に関する理解が深まる」「モノをなめることが認知的な行為だと気づく」ようになった小学生が少数ながら見られた。「長期にわたり繰り返しこのような体験をすれば、さらに大きな効果が得られるのではないか」がこのプロジェクト報告書の次の課題意識であった。

そこで、2006 年度、当部門は昨年度に引き続いて神戸市から業務委託を受け、長期的・継続的なプログラムで構成される「いのちを実感し親になることを考える体験学習」プロジェクト（Ⅱ）を実施した。

### 本プロジェクトの内容

#### <概要>

「小学生が長期的・継続的に赤ちゃんともふれあうことができる」ことが本プロジェクトの形式上の目的であった。そこで参考にしたのが、カナダでおこなわれてきた「ルーツ・オブ・エンパシー」という子どもの共感性を高める実践であった。このプログラムは、半年以上にもわたり、同じ赤ちゃんとも親をひと月に1回ずつ（年に9回 1回ごとに、ふれあいのセッションをはさんだ「事前学習」と「事後学習」がセットになっている）学校に招

き、子どもたちが赤ちゃんの成長を実感しながら「命の尊厳」「養護性」を学ぶことを通して、「暴力を抑制し共感性を高める」という短期的目標と「将来の親になるためのレディネスを育む」という長期的目標を同時に達成することをねらいとしている（Roots of Empathy ホームページ<sup>3)</sup>）。この方法にしたがい、2006年5月から同年12月まで毎月第2土曜日・計8回、「赤ちゃんふれあい体験学習」をおこなった（内容の詳細は後述する）。このプロジェクトの内容上の目的は、ふれあいという実体験を通して「自分の親・家族や自分が親になることに対する肯定的な態度を身につける」とともに「赤ちゃんの成長過程を理解する」ことであった。対象は小学4年生・5年生であった。この目的が達成されたかどうか、すなわち長期的な効果が見られるかどうかを検討するために、「赤ちゃんふれあい体験学習」の参加者を対象とした体験直前（プレテスト）と体験後（ふれあい開始から8か月後のポストテスト）の調査データを縦断的に比較した。さらに、同じ長期的効果を検討するために、本プロジェクトの結果を、昨年度に6年生を対象としたプロジェクトの結果および今年度に対照群として選んだ小学校の5年生を対象とした調査結果と比較した。

#### ＜プロジェクト対象者のリクルーティング＞

参加者（＝学習者）を小学4年生・5年生とした。これは、長期的・継続的ふれあい体験学習が長期的な効果をもつかどうかを、次年度（2007年度）にも追跡的に検討したかったためである。昨年度（2005年度）のプロジェクト報告書の短縮版と赤ちゃんふれあい体験をしてみたい小学生を募集するチラシ・参加申込書を作成し、神戸市灘区保健福祉部の協力を得て、2006年3月上旬に神戸市教育センターで行われた灘区内の小学校長連絡会で、それらを配布した。「赤ちゃんふれあい体験学習」が子どもにとって意味のある学習機会であり、体験の効果が期待できることを報告書にもとづいて学校長に説明し、各学校で関心のある小学4年生・5年生に声をかけて募集・推薦してほしい旨を依頼した。2006年4月末日を締め切りとし、参加申込書を学校からファックスで神戸大学・ヒューマンコミュニティ創成研究センターに送るという手続きをとった。参加申し込みは8校からあり、その内訳は4年男子0名・4年女子7名、5年男子4名・5年女子16名、計27名であった。

#### ＜プロジェクト協力者のリクルーティング＞

協力者は、自分の赤ちゃんを小学生とふれあわせてもよいと考える神戸市灘区内に在住する父母であった。灘区保健福祉部から、2005年12月生まれの赤ちゃんをもつ家庭に、「0歳児のパパママセミナー（月齢に応じた養育のありかたを学ぶセミナー）」の受講勧誘と「赤ちゃんふれあい体験学習」への協力を求める案内文を2006年3月末日に発送した。発送総数は98であり、同区の乳児4か月健診の案内と一緒に同封した場合と案内文のみ送付した場合とがあった。2006年4月末日を締め切りとし、参加申込書を自宅からファックスで神戸大学・ヒューマンコミュニティ創成研究センターに送るという手続きをとった。参加を申し込んだ親子は予想をはるかに上回る28組（発送対象者中約30%）であった。

#### ＜感染症対策＞

小学生が赤ちゃんふれあうときに留意すべき点のひとつは、小学生から赤ちゃんにさまざまな病気が感染しないことである。本プロジェクト開始直後（2006年5月末）に、参加している小学生の家庭に「お子様の予防接種暦などに関するおたずね」と題した調査票を郵送し、保護者に必要事項を記入して返送するように求めた。調査の内容は「これまで子どもが受けた予防接種を選択肢（BCG・三種混合・麻疹・風疹・ポリオ・日本脳炎・水痘・おたふくかぜ・その他）から選ぶ」と「これまで子どもが自然にかかった病気を選択肢（麻疹・風疹・水痘・おたふくかぜ・その他）から選ぶ」ものであった。回答の組

み合わせから、今後特定の疾患に感染する可能性のある子どもを同定し、その保護者に対して「周囲に当該の罹患者がいる場合と本人がその疾患に感染した恐れがある場合は『赤ちゃんふれあい体験学習』に出席しないよう」に依頼した。

### ＜プロジェクトの内容＞

すでに述べたように、このプロジェクトは毎月1回、8か月間にわたる長期のプロジェクトである。「赤ちゃんふれあい体験学習」は、月齢にあわせた赤ちゃんの特徴を学ぶ「事前セッション」・実際の「ふれあいセッション」・学んだり体験したりしたことの整理をおこなう「事後（振り返り）セッション」で構成されていた。「0歳児のパパママセミナー」は、0歳児の父母が赤ちゃんの月齢に応じた親としての養育のありかたを学ぶ「セミナーセッション」・自分の子ども（0歳児）と一緒に小学生と交流する「ふれあいセッション」・アンケートに回答をする「アンケートセッション」で構成されていた。本プロジェクトは赤ちゃんの生後5か月（2006年5月）から開始され、生後12か月（2006年12月）で終了した。ここでは、本委託事業に直接に関連する「赤ちゃんふれあい体験学習」の8回分のテーマと主な内容を以下にまとめる。

#### 赤ちゃんふれあい体験のテーマと内容

**第1回**（生後5か月時）5月13日（土）13：30～15：00

**赤ちゃんに出会う：プレテスト+赤ちゃん人形**（新生児の平均的な体重・身長と同じ）男・女2体を順次抱いて、ふれあいの予行練習→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）

**第2回**（生後6か月時）6月10日（土）13：15～15：00

**赤ちゃんは泣くのが仕事**：姿勢と意思との関係から赤ちゃんが泣くことを（例えば、近くにあるモノが欲しいけれど顔をうまくそちらに向けられないからイライラして泣く）説明したあと、それを自分の身体で経験しながら理解する→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）

**第3回**（生後7か月時）7月8日（土）13：15～15：00

**大事な赤ちゃん**：赤ちゃんに必要なものは「体の栄養」だけでなく「心の栄養」であることを伝え、赤ちゃんに寄り添う・赤ちゃんをいい気持ちにさせる工夫を話し合う→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）

**第4回**（生後8か月時）8月12日（土）13：15～15：00

**赤ちゃんは眠るのが大好き**：赤ちゃんの睡眠パターンと子ども・大人の睡眠パターンとの違いや赤ちゃんが子ども・大人と同じように夢を見るのかどうかをクイズ形式で学ぶ→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）

**第5回**（生後9か月時）9月9日（土）13：15～14：30

**赤ちゃんの感情**：赤ちゃんの感情がだんだんと分化していくこと（例えば、移動可能になったときにモノに手が届かないと悔しいとか、大人が注意することで恥ずかしいとかいう気持ちが生まれてくる）を理解する→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）

**第6回**（生後10か月時）10月14日（土）13：40～15：10

**個性を大事に**：生まれてから1歳くらいまでに、赤ちゃんは何ができるようになるのかを発達曲線を見ながら話し合い、それぞれに成長のスピードが違うけれど、それが赤ちゃんの個性につながることを理解する→ふれあい体験→学習シートへの記入（振り返り）+12月（最終回）に予定している誕生会の打ち合わせ（アイデアを出し合う）

**第7回**（生後11か月時）11月11日（土）13：15～14：45

**赤ちゃんとのコミュニケーション**：まだ言葉を話さない赤ちゃんと楽しくふれあうために

は、赤ちゃんの願いや赤ちゃんの好きなことを発見して一緒に遊ぶことが必要であることを話し、ふれあいの時に赤ちゃんの父母から、それを聞きだして遊ぶことを当日のふれあいの課題とする→ふれあい体験（最終回の誕生会で手紙を交換するペアを組む）→学習シートへの記入（振り返り）+12月（最終回）に予定している誕生会の打ち合わせ（ピアノ演奏、手遊びなどの役割分担を決定）

**第8回**（生後12か月時）12月9日（土）13:00～15:00

**お誕生日おめでとう**：赤ちゃん和父母が入室する前に、手遊びとピアノ演奏（誕生会の曲）を練習→ふれあい体験：ジュースとクッキーを楽しみながら、手紙の交換、写真撮影、手遊び、誕生会の歌（赤ちゃん全員・16名分の名前を繰り返して、計16回ピアノの伴奏に合わせて歌う）→学習シートへの記入（振り返り）+ポストテスト

### <プロジェクトの参画者と役割>

このプロジェクトは主に灘区内にあるさまざまなエージェンシーやエージェントの連携によって実施された。神戸市灘区保健福祉部は、学習対象者である小学生の募集に関して当部門と灘区内の小学校長会をつなぐ役割と、協力者である0歳児とその父母への募集案内を発送する役割とを受け持った。「赤ちゃんふれあい体験学習」の「事前セッション」と「事後（振り返り）セッション」は筆者（7回分）と幼稚園教諭免許保持者（1回分）が担当した。「0歳児のパパママセミナー」の講師として当部門が依頼したのは、ろっこう医療生協の医師（2回分）および当部門研究協力員（7回分）であった。後者の協力員は、「ふれあいセッション」と父母がアンケートに回答をする「アンケートセッション」も担当した。また、助産師の資格をもつ神戸大学大学院総合人間科学研究科に所属する院生が「赤ちゃんふれあい体験学習」と「0歳児のパパママセミナー」の全過程をコーディネートした。

### <プロジェクトの測度（データ）>

本プロジェクトで収集した主なデータは、「1回～8回を通した小学生の出席率および0歳児とパパ・ママの出席率」「1回～8回を通して小学生が記入した学習（振り返り）シートの内容およびパパ・ママが記入したアンケート回答」「小学生が1回目と8回目に記入したプレテストとポストテスト（上記、赤ちゃんふれあい体験学習のテーマと内容の中で示した部分）」「小学生の保護者に対するアンケート回答」であった。以下の「本プロジェクトの成果」では、赤ちゃんふれあい体験学習とは直接に関係しない0歳児のパパママセミナーに関するデータは除外し、今年度の小学4年生・5年生のプレテストの結果とポストテストの結果との比較、今年度の小学4年生・5年生のポストテストの結果と昨年度の小学6年生のポストテスト結果との比較、今年度の小学4年生・5年生のポストテストの結果と対照群として今年度（2007年1月）に調査をおこなった小学5年生の結果とを比較した。ただし、小学生の出席率については基礎的資料として提示する。

### 本プロジェクトの成果（結果と考察）

#### <参加者の内訳と出席率の推移>

このプロジェクトを計画したとき、複数の人から「今の小学生は多忙だから、毎月1回（第2土曜日）・8回連続のセミナーそのものの成立が難しいのではないか？」という心配の声をいただいた。しかし、昨年度の小学校における単発のプロジェクトである「赤ちゃんふれあい体験学習」の場で聞いた、担任の先生からの「子どもたち、この1年でいちばんいい表情しているよ」という声を支えにして、本プロジェクトの実施に踏み切った。したが

って、筆者にとって、8 か月間の出席率の推移は「赤ちゃんふれあい体験学習」の成否を判断する重要な指標である。

プロジェクト開始当初の申込者は、すでに述べたように、小学4年生・5年生27名（うち男子4名）であった。このうち、最初から一度も出席しなかった女子1名を除く26名を母数として、1回目（2006年5月）から8回目（2006年12月）までの出席率（出席者数）を算出したところ、以下のような結果を得た。

1回目（2006年5月）	92.3%（24名）	
2回目（2006年6月）	96.2%（25名）	
3回目（2006年7月）	84.6%（22名）	
4回目（2006年8月）	42.3%（11名）	* 実施日が12日でお盆休みの時期
5回目（2006年9月）	84.6%（22名）	
6回目（2006年10月）	65.4%（17名）	* 2つの小学校5名が学校のキャンプ
7回目（2006年11月）	80.8%（21名）	
8回目（2006年12月）	80.8%（21名）	

出席率が低い4回目と6回目の理由は「\*」のとおりであり、これを除く6回はいずれも8割を超える出席率であった。ここから、赤ちゃんとふれあう体験が小学生にとっていかに魅力的で楽しみであったかが推測される。なお、途中から欠席しはじめた参加者が2名（男女1名ずつ）いたが、女子のほうは「習い事の時間に変更になり、ふれあいの日と重なった」という理由であった。次項では、今年度データにおけるプレテストとポストテストとの比較をおこなうが、今年度データとして分析の対象となったのは、プレテストとポストテストを実施した両日ともに出席・回答した21名（男子3名・女子19名）である。

#### <今年度データにおけるプレテストとポストテストとの比較>

(1) プレテスト・ポストテストの内容（この内容は、昨年度の参加者および今年度の対照群を対象にして実施したものと同一である）

プレテストは次の①～③、ポストテストは次の②および③で示す内容で構成されていた。

- ①「赤ちゃんを近くで見たことがあるかどうか（はい・いいえ）」「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがあるかどうか（はい・いいえ）」「赤ちゃんにふれたり抱っこしたいと思うか（はい・どちらでもない・いいえ：集計の際「どちらでもない」は「いいえ」とした）」を強制選択法で問うもの。
- ②「自分の家族に対するイメージ」「自分の親に対するイメージ」「自分が親になることのイメージ」を文章完成法で問うもの。
- ③「赤ちゃんが生まれること」「おっぱいをすう赤ちゃん」「泣いている赤ちゃん」「笑っている赤ちゃん」「ねんねしている赤ちゃん」「おむつをしているあかちゃん」「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」「はいはいをしている赤ちゃん」「立って歩くようになった赤ちゃん」「モノをなめる赤ちゃん」「『あーあー』とか『うーうー』とか言う赤ちゃん」「ことばをしゃべる赤ちゃん」に対するイメージを文章完成法で問うもの。

#### (2) 体験前の経験と期待について

##### ①に関して

母数は21である。「赤ちゃんを見たことがある」者は95.2%（20名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は76.2%（16名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたり

したい」者は 100.0% (21 名) であった。対象者のほとんどが赤ちゃんを見たことがあるが、直接に赤ちゃんにふれた経験のない小学生が 5 名いた。しかし、全員が直接赤ちゃんにふれたいと回答している。ここから、学校で推奨されたとはいえ、自発的に参加を申し出たため、学習者の本プロジェクトに対する期待は大きかったことがうかがえる。

### (3) 体験前後の回答の比較

#### ②に関して

自分の家族に対するイメージ、自分の親に対するイメージ、自分が親になることに対するイメージを文章完成法で問うた（複数回答を認めていた）。そこで、人数ではなく実際の記述数（ひとつの文中に複数の意味が含まれている場合は複数カウントした）にもとづき、それぞれのイメージに関する量的な分析をおこなった結果、「自分の家族に対するイメージ」の総記述数（一人あたりの平均）は、プレテストで 42 (2.0)、ポストテストで 39 (1.9) であった。「自分の親に対するイメージ」の総記述数（一人あたりの平均）は、プレテストで 36 (1.7)、ポストテストで 43 (2.0) であった。「自分が親になることに対するイメージ」の総記述数（一人あたりの平均）は、プレテストで 30 (1.3)、ポストテストで 36 (1.7) であった。ここから、「自分の親に対するイメージ」と「自分が親になることに対するイメージ」の記述数は、8 か月間のふれあい体験によって増加したが、その変化はそれほど顕著なものではなかった。

次に、記入内容に関する分析をおこなった。記述された内容をポジティブ (P)・ニュートラル (N<sub>t</sub>)・ネガティブ (N<sub>g</sub>) の 3 つに分類した。分類基準として、P は「大切である、ささえてくれる、やさしい、がんばりや、頼れる、責任感、すごい」など肯定的な気持ちや価値を表現したもの、N<sub>t</sub> は「おとなしい、ふつうの存在、べつに何も無い、いないと困る、いいときと悪いときがある」など明確には判断できない気持ちや消極的で婉曲的な判断を表現したもの、N<sub>g</sub> は「うるさい、こわい、大変そう、タバコをやめない、うざい、遊んでくれない」など否定的な気持ちや批判を表現したものとした。なお、これらのカテゴリに分類することのできない回答については別途紹介し考察する。まずは、分類後の記述数をカテゴリごとの総回答数で除した結果を整理する。

#### 自分の家族に対するイメージ

プレテスト	P : 40 (95.2%)	N <sub>t</sub> : 2 (4.8%)	N <sub>g</sub> : 0 (0.0%)	総記述数 42
ポストテスト	P : 38 (97.4%)	N <sub>t</sub> : 1 (2.6%)	N <sub>g</sub> : 0 (0.0%)	総記述数 39

#### 自分の親に対するイメージ

プレテスト	P : 31 (86.1%)	N <sub>t</sub> : 1 (2.8%)	N <sub>g</sub> : 4 (11.1%)	総記述数 36
ポストテスト	P : 38 (88.4%)	N <sub>t</sub> : 0 (0.0%)	N <sub>g</sub> : 5 (11.6%)	総記述数 43

#### 自分が親になることに対するイメージ

プレテスト	P : 19 (63.3%)	N <sub>t</sub> : 3 (10.0%)	N <sub>g</sub> : 8 (26.7%)	総記述数 30
ポストテスト	P : 15 (68.2%)	N <sub>t</sub> : 0 (0.0%)	N <sub>g</sub> : 7 (31.8%)	総記述数 22

「自分の家族に対するイメージ」「自分の親に対するイメージ」に関する記述内容は P・N<sub>t</sub>・N<sub>g</sub> のいずれかに分類可能であったので、その総記述数は記述量の分析における総記述数と同一である。そして、自分の親に対するイメージに若干ネガティブな内容が記述されてはいるが、おおむね、自分の家族や自分の親に対してポジティブなイメージが維持されたまま事前から事後にかけて推移している。しかし、ポストテストにおける「自分が親になることに対するイメージ」への記述には、P・N<sub>t</sub>・N<sub>g</sub> のいずれにも分類で

きないものが多く含まれており、その総記述数は記述量の分析の場合における総記述数よりも少なくなっている（下線部）。この分類できなかつた14の回答を具体的にあげると、「小さな命をかかえる、ひとつの生命を育てる、自分に命がさずかること、人生の一步をふみだす、ひとつの仕事に取り組む、ハードルを越したところ、不安・心配、子育てをする、子どもを守る、勉強する（類似の回答はまとめてある）」である。これらの回答は、単に「責任感が必要」「大変そうだ」「楽しみである」「疲れる」などの昨年度データで見られた典型的な回答とは質的に異なっている。これらの言葉をつないでみると、「親になるということは子育てをすることであり、それは、さずかつた小さな命を守り育てていくという人生の大きな仕事であり転機である。それゆえに不安や心配が伴うが、それでも学んでいなくてはならないこと」という豊かなイメージを形成できる。個々の学習者はまだ小学4年生・5年生であり、親になることのイメージを断片的にしか記述できないことを考慮すると、このようなイメージが参加者全体に共有されたのかもしれない。

### ③に関して

学習者である小学生が「赤ちゃんの成長過程をどの程度理解するようになったか」を知るためにおこなった12の項目に対する回答数と回答内容を整理し、考察を加える。なお、ポストテストの段階で、12項目中11項目において回答数が増加していた。

#### ◆「赤ちゃんが生まれること」に関する集計結果

プレテスト（回答数21 未記入0）

すごいこと うれしい 命が1つ増えること うれしいこと うれしい うれしい うれしいこと すごいこと うれしい うれしいこと うれしいこと うれしい いいこと 1つの命が生まれる 新しい人生のたん生 うれしいこと うれしい うれしい うれしい かわいい うれしい

ポストテスト（回答数21 未記入2）

うれしい うれしい この世に命を増やす すごくうれしい 大変 未記入 家族が増える 未記入 うれしい+心配 すごくうれしい すごくうれしいこと すごくうれしい うれしい うれしい それまでは苦しいが生まれたときはとても不思議な感じがすると思う 喜ばしい うれしい うれしい すごくうれしい うれしいこと 大切な約束+責任をはたす事

・プレテストの段階では、「うれしい」「いのち、人生の誕生」のという回答が大半を占めていたが、ポストテストでは、下線部に示すように「親や家族の立場」から出生を捉えていることを示す回答が見られた。

#### ◆「おっぱいを吸う赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数19 未記入2）

お腹が空いている子 うれしい 大きくなる 元気のいい かわいい かわいい いい 気持ちだと思ふ 眠そう 未記入 元気な子 かわいい かわいい お腹が空いている 未記入 気持ちがいい 一生けん命飲んでいるところがかわいい かわいい ほっとする かわいい かわいい かわいい

ポストテスト（回答数22 未記入0）

うれしそう+ごきげん うれしい かわいい 元気な子 かわいい かわいい のどがかわいている かわいい 元気な子 元気な子 かわいい かわいい かわいい かわいい とても幸せだと思ふ+いい気持ち かわいい かわいい かわいい かわいい かわいい 成長してほしい

・ポストテストの段階で「かわいい」という回答が増加している。ふれあいの前半期に実

際に授乳場面を見ている学習者がいることから、これらの「かわいい」という回答は実感が込められたものと推測される。成長を期待する回答が1つだけ見られた。

◆「泣いている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 22 未記入 1）

元気な子 何を思っているか分からない 一生けんめい何かを伝えようとしている 何かを言おうとしている どうしたらいい？ かわいい おこった気持ちと思う かわいそう かわいい とても元気+自分が言いたいことを伝える子 少しかわいそう+かわいい すごい声 声が大きい 意味もわからず泣いている せいっぱい自分の気持ちをアピールしている 元気なしょうこ 何を思っているか分からない 何かが足りない 未記入 さびしそう かわいそう

ポストテスト（回答数 23 未記入 0）

かなしい+こわい なんで泣くの？ かわいそう 元気な子 かわいい かわいい 悲しい気持ち 大変そう かわいそう 元気な子 かわいそう+かわいい かわいそう どうしたのだろう？ かわいそう 大きな口をあけて大きな声でなく かわいそう かわいそう かわいい 少しなんとなくかわいい かわいそう それでもかわいい

- ・プレテストの段階のほうが、多様な回答が見られる（下線部）。しかし、これらは、メッセージを伝えるために泣くという知識を記したものや泣く原因がわからない・大声で泣くといった客観的な記述である。ポストテストの段階（下線部）では、泣き方に関して、実際に見た様子やそのときに自分の感情を記述している回答や、赤ちゃんの気持ち・親の気持ちに共感していることを示す回答が見られた。

◆「笑っている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 21 未記入 1）

にぎやかな子 かわいい とてもうれしい 赤ちゃんがうれしい かわいい かわいい うれしい気持ちと思う うれしくなる とてもかわいい やさしい子 すごくかわいい かわいい 喜んでいる 未記入 かわいい かわいい かわいい きげんがよい すごくかわいい かわいい うれしそう

ポストテスト（回答数 24 未記入 0）

おもしろい+たのしい かわいい なごむ 元気な子 かわいい かわいい うれしい気持ち 見ている楽しい かわいい 元気な子 すごくかわいい すごくかわいい うれしそう かわいい とてもうれしそう+楽しそう かわいい たのしそう すごくかわいい すごくかわいい かわいい+うれしそう 守りたい

- ・下線部で示すように、自分がどう感じているかに関する回答が見られるようになった。これは、ふれあう中で赤ちゃんの笑顔を実際に見たことの影響だと思われる。

◆「ねんねしている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 20 未記入 1）

疲れている子 寝顔がかわいい かわいい つかれた すごくかわいい かわいい いい気持ちだと思う かわいい 夢を見ているのかな？ つかれた子 かわいい かわいい 静か 未記入 夢のなかで動き回っている かわいい 寝顔がかわいい ほっとしている かわいい 静か かわいい

ポストテスト（回答数 23 未記入 1）

夢の中で静かに休けい かわいい とてもかわいい顔をしている かわいい かわいい かわいい ねむたい赤ちゃん 安心 かわいい 元気な子 かわいい すごくかわいい かわいい+眠たいのだ かわいい いい気持ち+いい夢を見ている かわいい かわいい かわいい すごくかわいい 気持ちよさそう かわいい

- ・この項目に関しては、プレテストとポストテストとの間に大きな違いはみられないが、



「つかれている」という否定的な見方はなくなった（下線部）。

◆「おむつをしている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 15 未記入 6）

まだ小さい 赤ちゃんらしい 赤ちゃんらしい まだ小さい 未記入 かわいい 未記入  
かわいい 未記入 小さい子 かわいい かわいい トイレにいかない 未記入  
おもらしをしても大丈夫 がんばって生きているような感じ 赤ちゃんらしい 未記入  
未記入 おさない 小さそう

ポストテスト（回答数 18 未記入 4）

まだ小さい 未記入 小さいと思う どんどん大きくなる 未記入 かわいい 未記入  
幼児 小さい子 小さい赤ちゃん かわいい まだまだだと思う おもらししてしまう  
かわいい ばたばたあばれる+早くどこかに探検に行きたいと思っている かわいい  
未記入 かわいい まだ赤ちゃんだなあ もぞもぞしている まだ小さい人だな

- ・プレテストの段階（下線部）では、「赤ちゃんらしい」や「トイレにいかない」など、観念的な回答が目立つが、ポストテストの段階（下線部）では、「まだこれから発達するのだ」という期待や「おもらし、ばたばた、もぞもぞ」など、学習者がふれあいで現実のおむつ交換を観察した経験が反映された回答が見られた。

◆「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 20 未記入 2）

もう大きい子 がんばっている 一生けん命 がんばっている がんばれ！ うれしい  
未記入 努力しているのだと思う 「がんばれ」と思う がんばっている子 がんば  
っている+かわいい すごいと思う 未記入 一生けん命 がんばっている がんば  
っている がんばっている 大きくなってきている がんばっている がんばっている  
すごい

ポストテスト（回答数 23）

がんばっている がんばってもらいたい がんばっているなと思う がんばっている  
すごい かわいい 何かをとろうとしている がんばっている がんばっている がん  
ばりやの赤ちゃん がんばっている+かわいい がんばれって思う がんばれ がんば  
っている がんばっている がんばれと思う がんばっている がんばっている+かわ  
い がんばれ！ がんばっている がんばって

- ・プレテストの段階では「がんばっている」といった回答が多いものの、それ以外の回答も見られる。しかし、ポストテストの段階では、「がんばっている」「がんばれ」という回答がほとんどである。これも、学習者がふれあいの中で実際につかまり立ちし始めている様子を見ている影響だと思われる。

◆「はいはいをしている赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 18 未記入 3）

1歳くらいの子 かわいい かわいい 動き回って元気 かわいい かわいい 未記入  
かわいい もう少しで立てるようになるからがんばれ 自分で何でもやりたがる子 かわ  
い がんばれ！と思う まだ立てない 未記入 楽しそう かわいい かわいい  
元気がいい 未記入 うれしそう かわいい

ポストテスト（回答数 25 未記入 1）

早くたいたいよー 早く立てるようになってねと思う 赤ちゃんだなと思う がんばり  
や がんばれ かわいい 冒険したい気分の赤ちゃん 成長 成長していく がんば  
っている赤ちゃん うれしそう+かわいい がんばれ！ どこに行くのかな かわいい  
楽しそう+わくわくしている+冒険に行く気持ちだと思う かわいい 未記入 かわいい  
がんばって 一生けん命にみえる がんばったね+楽しそう

- ・プレテストの段階でも（下線部）、「もう少しで立てるからがんばれ」と赤ちゃんの成長を願う気持ちを表現した回答もあるが、それ以外はやはり観念的な回答だと思われる。これに対し、ポストテストの段階（下線部）では、赤ちゃんの気持ちを代弁した回答（早く立ちたい、冒険したい）や成長を願う回答が見られるようになった。

◆「立って歩くようになった赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 18 未記入 3）

2歳くらいの子 かわいい すごい+よくがんばったね 自分で何でもしたい うれしい かわいい 未記入 かわいい 成長したんだと思う 自分でがんばった子 かわいい すごいねーとほめると思う 未記入 未記入 やったあ！ がんばっているところがかわいい かわいい 大きくなった 未記入 うれしい すごいねーと思う

ポストテスト（回答数 22 未記入 1）

すごいねー すごい 成長したなあ 成長している すごい かわいい 未記入 成長 成長した 成長した赤ちゃん がんばっている+かわいい すごいねーと思う すごい すごい どうどうとしている+一歩大人になった感じ すごい 成長した すごいなどと思う すごい 成長している もう大丈夫なんだね

- ・下線部で示したように、「歩けるようになること」を「成長」ととらえる学習者が増えた。これは生後5ヵ月からの赤ちゃんの成長を目の当たりにしてきたからだと思われる。

◆「モノをなめる赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 17 未記入 4）

お腹が空いている子 かわいい きたない 大きくなってきた 未記入 かわいい 未記入 かわいい 未記入 何でもふれあえる子 かわいい かわいい お腹が空いている 食べたいのかな おいしいのかなあ・・・ きたない かわいい おしゃぶりがほしい 未記入 かわいい かわいい？

ポストテスト（回答数 19 未記入 2）

お腹が空いている子 かわいい おいしいのかな お腹が空いている 未記入 かわいい お腹が空いている時の赤ちゃん かわいい かわいい かわいい かわいい まだまだ赤ちゃんだね お腹が空いているのかな かわいい 興味しんしん まずそう 未記入 おもしろい やっぱ赤ちゃんだなー 発達している まだそうしていいよ

- ・プレテストの段階では、否定的な表現（下線部）が見られるが、ポストテストの段階では、まだ成長の途上であることに共感している回答（下線部）や外界への興味から「モノをなめる」ことを理解した回答（下線部）が見られた。

◆「あーあーとかうーうーとか言う赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 18 未記入 3）

言葉が分かってきた子 かわいい 何かを言いたい 未記入 かわいい 未記入 こわくなる 何を言っているのかな？ 意思表示ができる子 かわいい すごくかわいい かわいい 未記入 しゃべろうとしている+気持ちをアピールしている かわいい かわいい 自分ではしゃべっている しゃべろうとしている かわいい かわいい

ポストテスト（回答数 22）

しゃべろうとしている 早くちゃんとしゃべらないかな かわいい 気持ちを伝えようとしている かわいい かわいい 誰かをよんでいる がんばっている 何かを伝えようとしている 気持ちを伝えようとがんばっている かわいい かわいい まだしゃべれないのかな しゃべりたい 何かしゃべろうとしている 何を言っているの？と思う 何か話したい がんばっている+かわいい 何を言おうとしてるんだろう 何かをあらわしている 「うん」と声をかけたい

- ・プレテストとポストテストいずれも、「しゃべろうとしている」という回答が多い点では

共通しているが、ポストテストの段階では、赤ちゃんの気持ちを代弁する回答や赤ちゃんに応答的に働きかけようとする回答が目立った。

#### ◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」に関する集計結果

プレテスト（回答数 20 未記入 2）

3 歳くらいの子 すごい もう子どもにちかづいている 大きくなってきた がんばったね かわいい 未記入 かわいい+うれしい もうしゃべれるようになったと思う 大きくなってきた子 かわいい すごいと思う かわいい りっぱ ちょっぴり大人になったねという感じ りっぱなしょうこ すごい もっと大きくなった 未記入 すごい すごい

ポストテスト（回答数 23 未記入 1）

1 歳くらいだね+すごい すごいと思う 成長したなあ いろいろしたいと思っている かわいい かわいい お話をしたい時の赤ちゃん すごい 成長した いろいろしたい と思っている かわいい+すごい すごいねー！ すごい すごい 未記入 かわいい 自分の気持ちを伝えられる がんばれと思う じょうずだね 大きくなったと思う 私もことばを返す

- ・ポストテストの段階で、「赤ちゃんの気持ち（いろいろしたい・伝えたい気持ち）への共感」「成長」「応答する（ことばを返す）」に言及した回答（下線部）が見られた。

以上をまとめると、実際にふれあう中で観察した経験にもとづいて、赤ちゃんの発達に関する回答内容が客観的・観念的なものから共感的・応答的なものに変容したと結論づけることができる。

#### <昨年度データと今年度データとの比較>

ここでは、昨年度に福住小学校で実施した「赤ちゃんふれあい体験学習」の参加者であった小学 6 年生のデータ（n=66）と今年度の「赤ちゃんふれあい体験学習」の参加者であった小学 4 年生・5 年生のデータ（n=21）とを比較して、長期的なプロジェクトの効果に関する検討をおこなう。

##### ①に関して

昨年度の母数は 66 名である。「赤ちゃんを見たことがある」者は 92.4%（61 名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は 86.4%（57 名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたい」者は 45.5%（30 名）であった。今年度の母数は 21 名である。「赤ちゃんを見たことがある」者は 95.2%（20 名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は 76.2%（16 名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたい」者は 100.0%（21 名）であった。昨年度も今年度も、対象者のほとんどが赤ちゃんを見たことがあり、その多くが直接に赤ちゃんにふれたり抱っこしたりした経験がある。しかし、赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたいとする者の割合は、今年度の参加者のほうが圧倒的に多い（100%）。自発的に参加を申し出たため、学習者の本プロジェクトに対する期待が大きかったことがうかがえる。

##### ②に関して

昨年度の小学 6 年生のデータ（n=66）では、「自分の家族に対するイメージ」の記述数の平均値はプレテストで 1.58、ポストテストで 1.41 となり、減少していた。「自分の親に対するイメージ」の記述数の平均値はプレテストで 1.62、ポストテストで 1.67 となり、増加していた。「自分が親になることに対するイメージ」の記述数の平均値はプレテストで 1.23、

ポストテストで1.21となり、減少していた。これらに対し、今年度の小学4・5年生のデータ（n=21）では、「自分の家族に対するイメージ」の記述数の平均値は、プレテストで2.00、ポストテストで1.90となり、減少した。「自分の親に対するイメージ」の記述数の平均値は、プレテストで1.70、ポストテストで2.00となり、増加した。「自分が親になることに対するイメージ」の記述数の平均値は、プレテストで1.30、ポストテストで1.70となり、増加した。どのイメージにおいても、プレテストの時点で、自分の親に対するイメージが今年度データの得点の方が高いこと、昨年度データでは1つのイメージで増加し2つのイメージで減少しているのに対し、今年度データでは2つのイメージで増加し1つのイメージで減少していること、増加の大きさが今年度データのほうが明確であることが指摘できる。これらの結果から、今年度の学習者のほうが昨年度の学習者に比べて、「自分の親に対するイメージ」「自分が親になることに対するイメージ」の回答数が長期のふれあい体験学習によって明らかに増加したと結論づけられる。

次に、記入内容について比較する。ただし、今年度データの「自分が親になることに対するイメージ（ポストテスト）」で3つのカテゴリーのいずれにも分類することがむずかしかった14の回答は、親になる意識の向上という意味で、ここではポジティブな回答として算入した。結果を以下に整理する。

#### 自分の家族に対するイメージ

##### 昨年度データ

プレテスト P : 89.4% N t : 9.6% N g : 1.0%

ポストテスト P : 95.6% N t : 3.3% N g : 1.1%

##### 今年度データ

プレテスト P : 95.2% N t : 4.8% N g : 0.0%

ポストテスト P : 97.4% N t : 2.6% N g : 0.0%

#### 自分の親に対するイメージ

##### 昨年度データ

プレテスト P : 64.5% N t : 19.6% N g : 15.9%

ポストテスト P : 69.1% N t : 5.5% N g : 25.5%

##### 今年度データ

プレテスト P : 86.1% N t : 2.8% N g : 11.1%

ポストテスト P : 88.4% N t : 0.0% N g : 11.6%

#### 自分が親になることに対するイメージ

##### 昨年度データ

プレテスト P : 50.6% N t : 24.7% N g : 24.7%

ポストテスト P : 72.5% N t : 7.5% N g : 20.0%

##### 今年度データ

プレテスト P : 63.3% N t : 10.0% N g : 26.7%

ポストテスト P : 80.6% N t : 0.0% N g : 19.4%

記入内容、すなわち質的に比較したときの顕著な変化は、昨年度・今年度ともに「自分が親になることに対するイメージ」にあらわれた。両年度とも、プレテストの時点ではそれほどポジティブな回答は多くなかったのに対し、ポストテストのときにはポジティブな回答が増加している。特に今年度のほうが増加の割合が高くなっているが、その差は明確なものとは言えない。

### ③（記述数の増減）に関して

「赤ちゃんの成長過程をどの程度理解するようになったか」を知るためにおこなった 12 の項目に関して、その記述数および未記入数を昨年度データ・今年度データと並べてみると以下のようなになる。

#### ◆「赤ちゃんが生まれること」

昨年度データ

プレテスト 回答数 68 未記入数 4      ポストテスト 回答数 64 未記入数 6      減

今年度データ

プレテスト 回答数 21 未記入数 0      ポストテスト 回答数 21 未記入数 2      同

#### ◆「おっぱいを吸う赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 48 未記入数 18      ポストテスト 回答数 47 未記入数 20      減

今年度データ

プレテスト 回答数 19 未記入数 2      ポストテスト 回答数 22 未記入数 0      増

#### ◆「泣いている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 72 未記入数 6      ポストテスト 回答数 70 未記入数 9      減

今年度データ

プレテスト 回答数 22 未記入数 1      ポストテスト 回答数 23 未記入数 0      増

#### ◆「笑っている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 69 未記入数 2      ポストテスト 回答数 66 未記入数 4      減

今年度データ

プレテスト 回答数 21 未記入数 2      ポストテスト 回答数 24 未記入数 0      増

#### ◆「ねんねしている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 63 未記入数 7      ポストテスト 回答数 65 未記入数 5      増

今年度データ

プレテスト 回答数 20 未記入数 1      ポストテスト 回答数 23 未記入数 0      増

#### ◆「おむつをしている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 39 未記入数 27      ポストテスト 回答数 45 未記入数 24      増

今年度データ

プレテスト 回答数 15 未記入数 6      ポストテスト 回答数 18 未記入数 4      増

#### ◆「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 64 未記入数 4      ポストテスト 回答数 65 未記入数 3      増

今年度データ

プレテスト 回答数 20 未記入数 2      ポストテスト 回答数 23 未記入数 0      増

#### ◆「はいはいしている赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 56 未記入数 9      ポストテスト 回答数 59 未記入数 7      増

今年度データ

プレテスト 回答数 18 未記入数 3      ポストテスト 回答数 25 未記入数 1      増

◆「立って歩くようになった赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 61 未記入数 6      ポストテスト 回答数 63 未記入数 12      増

今年度データ

プレテスト 回答数 18 未記入数 3      ポストテスト 回答数 22 未記入数 1      増

◆「モノをなめる赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 53 未記入数 14      ポストテスト 回答数 49 未記入数 16      減

今年度データ

プレテスト 回答数 17 未記入数 4      ポストテスト 回答数 19 未記入数 2      増

◆「あーあーとかうーうーとか言う赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 57 未記入数 10      ポストテスト 回答数 52 未記入数 7      減

今年度データ

プレテスト 回答数 18 未記入数 3      ポストテスト 回答数 21 未記入数 0      増

◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」

昨年度データ

プレテスト 回答数 67 未記入数 3      ポストテスト 回答数 62 未記入数 7      減

今年度データ

プレテスト 回答数 20 未記入数 2      ポストテスト 回答数 23 未記入数 1      増

以上から、昨年度データの回答数の変化は「7項目が減少、5項目が増加」となっている。これに対し、今年度データの回答数の変化は「1項目が同一であり、11項目が増加」である。これに、「家族・親・自分が親になることに対するイメージ」の増減を加えると、昨年度データでは「9項目が減少、6項目が増加」であるのに対し、今年度データでは「1項目が減少、1項目が同一で、12項目で増加」となっている。年度（昨年度・今年度）と変化（増加・同一・減少）とをクロスさせて項目数の分布の偏りをカイ自乗検定すると、 $\chi^2 = 10.282$  ( $p < .01$ ) が得られた。したがって、今年度の学習者である小学4年生・5年生 ( $n=21$ ) のほうが、昨年度の学習者である小学6年生 ( $n=66$ ) よりも、プレテストからポストテストにかけて回答数の増えた項目が有意に多いと言える。すなわち、昨年度の単発的な「赤ちゃんふれあい体験学習」よりも今年度の長期的・継続的な「赤ちゃんふれあい体験学習」のほうが、記述数を高める上で効果があったと結論づけられる。

③（記述の割合と質）に関して

「赤ちゃんの成長過程をどの程度理解するようになったか」を検討するための12の質問項目に関して、その記述数を回答者総数で除した比率（100%を超えれば一人につき1つ以上回答しており、100%を下回れば一人につき1つ未満しか回答していない）およびポジティブな記述数を総記述数で除した比率を、昨年度データと今年度データとで並べてみると以下のようなになる（いずれもポストテストで比較。この部分に関する昨年度の回答内容は、本報告書末の〈資料1〉を参照のこと）。なお、ここでいうポジティブな記述とは「赤ちゃんの発達に関する知識ないしは発達への期待、赤ちゃんに対する共感性ないしは親和性、赤ちゃんを働きかける対象と見ている」といった内容を示す表現である。昨年度と今年度で比較し、それぞれ比率の高いほうに下線を付しておく。

◆「赤ちゃんが生まれること」		
昨年度データ	記述数の割合 (97.0%)	ポジティブな記述数の割合 (75.0%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(100.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(81.0%)</u>
◆「おっぱいを吸う赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (71.2%)	ポジティブな記述数の割合 (78.7%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(104.8%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(95.5%)</u>
◆「泣いている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (106.1%)	ポジティブな記述数の割合 (62.9%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(78.3%)</u>
◆「笑っている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (100.0%)	ポジティブな記述数の割合 (98.5%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(114.3%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(100.0%)</u>
◆「ねんねしている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (98.5%)	ポジティブな記述数の割合 <u>(93.7%)</u>
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 (91.3%)
◆「おむつをしている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (68.2%)	ポジティブな記述数の割合 <u>(40.0%)</u>
今年度データ	記述数の割合 <u>(85.7%)</u>	ポジティブな記述数の割合 (38.9%)
◆「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (98.5%)	ポジティブな記述数の割合 (95.4%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(95.7%)</u>
◆「はいはいしている赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (98.5%)	ポジティブな記述数の割合 (80.0%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(119.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(88.0%)</u>
◆「立って歩くようになった赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (95.5%)	ポジティブな記述数の割合 (84.1%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(104.7%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(100.0%)</u>
◆「モノをなめる赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (74.2%)	ポジティブな記述数の割合 (53.1%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(90.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(57.9%)</u>
◆「あーあーとかうーうーとか言う赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (93.9%)	ポジティブな記述数の割合 (71.0%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(100.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(100.0%)</u>
◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」		
昨年度データ	記述数の割合 (93.9%)	ポジティブな記述数の割合 (87.1%)
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(91.3%)</u>

以上から、記述数の比率、ポジティブな記述数の比率いずれも、昨年度データより今年度データのほうが高い項目が圧倒的に多い。昨年度データの比率のほうが高いのは「ねんねしている赤ちゃん」「おむつをしている赤ちゃん」におけるポジティブな記述数の比率だけである。ここから、今年度の学習者である小学4年生・5年生 (n=21) のほうが、昨年度の学習者である小学6年生 (n=66) よりも、赤ちゃんの成長過程に関する理解やそれに対する肯定的な気持ちが高いことが分かる。すなわち、昨年度の単発的な「赤ちゃんふれあい体験学習」よりも今年度の長期的・継続的な「赤ちゃんふれあい体験学習」のほうが効果的であったと結論づけられる。

### <今年度データと対照群データとの比較>

ここでは、今年度の「赤ちゃんふれあい体験学習」の参加者であった小学4年生・5年生のデータと対照群として選んだ小学5年生のデータ（女子16名・男子18名）のデータとを比較して、長期的プロジェクトの効果に関する検討をおこなう。なお、効果検討のため、以下に記す「②に関して」「③に関して」において、対照群データと比較する今年度のデータはポストテストの結果である。

#### ①に関して

小学4年生・5年生の母数は21名である。「赤ちゃんを見たことがある」者は95.2%（20名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は76.2%（16名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたい」者は100.0%（21名）であった。対照群である小学6年生の母数は34名である。「赤ちゃんを見たことがある」者は79.4%（27名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は61.8%（21名）、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたい」者は41.2%（14名）であった。以上から、今年度の「赤ちゃんふれあい体験学習」の参加者のほうが対照群の子どもに比べて、赤ちゃんとふれるという過去経験が若干多く、赤ちゃんにふれたいという希望・期待は圧倒的に高いことがわかる。

#### ②に関して

今年度の小学4・5年生のデータ（n=21）では、「自分の家族に対するイメージ」の記述数の平均値は1.90、「自分の親に対するイメージ」の記述数の平均値は2.00、「自分が親になることに対するイメージ」の記述数の平均値は1.70であった。これに対し、対照群の小学5年生のデータ（n=34）では、「自分の家族に対するイメージ」の記述数の平均値は2.32、「自分の親に対するイメージ」の記述数の平均値は2.32、「自分が親になることに対するイメージ」の記述数の平均値は1.79であった。「自分の家族に対するイメージ」の記述数および「自分の親に対するイメージ」の記述数については、対照群のほうが高かった。また、「自分が親になることに対するイメージ」に記述数については、両群に差は見られなかった。

次に、記入内容についての比較をおこなう。結果を以下に整理する。

#### 自分の家族に対するイメージ

今年度データ	P : 97.4%	N t : 2.6%	N g : 0.0%
対照群データ	P : 74.7%	N t : 11.4%	N g : 13.9%

#### 自分の親に対するイメージ

今年度データ	P : 88.4%	N t : 0.0%	N g : 11.6%
対照群データ	P : 51.9%	N t : 30.4%	N g : 17.7%

#### 自分が親になることに対するイメージ

今年度データ	P : 80.6%	N t : 0.0%	N g : 19.4%
対照群データ	P : 34.4%	N t : 49.2%	N g : 16.4%

記入内容、すなわち質的に比較したときの特徴は、いずれのイメージにもあらわれた。「自分の家族に対するイメージ」では、今年度の参加者の回答がほとんどポジティブであったのに対し、対照群の回答には一定の割合でニュートラルおよびネガティブなものが見られた。この傾向は「自分の親に対するイメージ」においてさらに顕著であった。さらに、「自分が親になることに対するイメージ」においては、対照群のうちそれをポジティブにとら



えている者は 35%程度にすぎないのに対し、今年度データでは、それをポジティブにとらえている者は約 80%となっている。

以上から、記述数（量的比較）に関しては対照群のほうが多い傾向にあったが、その内容（質的比較）に関して検討した結果、長期にわたる「赤ちゃんふれあい体験学習」を受けることは、それを受けない場合にくらべて、「自分の家族や親」をより肯定的にとらえさせる効果を持っているのに加え、特に「自分が親になること」を肯定的にとらえさせる効果が強いと結論づけられる。

### ③（記述の割合と質）に関して

「赤ちゃんの成長過程をどの程度理解するようになったか」を検討するための 12 の質問項目に関して、その記述数を回答者総数で除した比率（100%を超えれば一人につき 1 つ以上回答しており、100%を下回れば一人につき 1 つ未満しか回答していない）およびポジティブな記述数を総記述数で除した比率を、今年度データと対照群データで並べてみると以下のようなになる（いずれもポストテストで比較。この部分に関する対照群の回答内容は、本報告書末の〈資料 2〉を参照のこと）。なお、ここでいうポジティブな記述とは「赤ちゃんの発達に関する知識ないしは発達への期待、赤ちゃんに対する共感性ないしは親和性、赤ちゃんを働きかける対象と見ている」といった内容を示す表現である。昨年度と今年度で比較し、それぞれ比率の高いほうに下線を付しておく。

◆ 「赤ちゃんが生まれること」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(100.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(81.0%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (91.2%)	ポジティブな記述数の割合 (61.3%)
◆ 「おっぱいを吸う赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(104.8%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(95.5%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (102.9%)	ポジティブな記述数の割合 (91.3%)
◆ 「泣いている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (109.5%)	ポジティブな記述数の割合 <u>(78.3%)</u>
対照群データ	記述数の割合 <u>(111.8%)</u>	ポジティブな記述数の割合 (57.9%)
◆ 「笑っている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(114.3%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(100.0%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (100.0%)	ポジティブな記述数の割合 (97.1%)
◆ 「ねんねしている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(91.3%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (100.0%)	ポジティブな記述数の割合 (85.3%)
◆ 「おむつをしている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (85.7%)	ポジティブな記述数の割合 <u>(38.9%)</u>
対照群データ	記述数の割合 <u>(100.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 (29.4%)
◆ 「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(109.5%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(95.7%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (97.1%)	ポジティブな記述数の割合 (81.8%)
◆ 「はいはいしている赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 <u>(119.0%)</u>	ポジティブな記述数の割合 <u>(88.0%)</u>
対照群データ	記述数の割合 (97.1%)	ポジティブな記述数の割合 (66.7%)

◆「立って歩くようになった赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (104.7%)	ポジティブな記述数の割合 (100.0%)
対照群データ	記述数の割合 (94.1%)	ポジティブな記述数の割合 (84.4%)
◆「モノをなめる赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (90.5%)	ポジティブな記述数の割合 (57.9%)
対照群データ	記述数の割合 (97.1%)	ポジティブな記述数の割合 (54.5%)
◆「あーあーとかうーうーとか言う赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (100.0%)	ポジティブな記述数の割合 (100.0%)
対照群データ	記述数の割合 (102.9%)	ポジティブな記述数の割合 (68.6%)
◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」		
今年度データ	記述数の割合 (109.5%)	ポジティブな記述数の割合 (91.3%)
対照群データ	記述数の割合 (97.1%)	ポジティブな記述数の割合 (81.8%)

以上から、記述数の割合では、「泣いている赤ちゃん」「おむつをしている赤ちゃん」「モノをなめる赤ちゃん」「あーあーとかうーうーとか言う赤ちゃん」において、対照群データのほうが今年度データより高く、その他の8項目に関しては今年度データのほうが高くなっている。ポジティブな記述数の比率については、すべての項目において、対照群データより今年度データのほうが高くなっている。ここから、今年度の学習者である小学4年生・5年生 (n=21) のほうが、対照群の小学5年生よりも、赤ちゃんの成長過程に関する理解やそれに対する肯定的な気持ちが高いことが分かる。すなわち、今年度の長期的・継続的な「赤ちゃんふれあい体験学習」は、それをまったく受けない場合よりも効果的であったと結論づけられる。

#### おわりに (まとめと今後の課題)

本プロジェクトの目的は、「ルーツ・オブ・エンパシー」という子どもの共感性を高めるカナダの実践をモデルとし、「小学生が長期的・継続的に赤ちゃんとふれあう」ことを通して、「自分の親・家族や自分が親になることに対する肯定的な態度を身につける」とともに「赤ちゃんの成長過程を理解する」ことであった。2006年5月から同年12月まで毎月第2土曜日・計8回、小学4年生・5年生と0歳児とがふれあう体験的プロジェクトを神戸大学大学院総合人間科学研究科・ヒューマンコミュニティ創成研究センターのサテライト施設「のびやかスペース あーち」でおこなった。この目的が達成されたかどうかを、体験直前(プレテスト)と体験直後(8か月後のポストテスト)の調査データを縦断的に比較した。また、この長期的・継続的プロジェクトの効果を検討するために、今年度のデータと昨年度に小学6年生を対象におこなった単発プロジェクトのデータとを横断的に比較するとともに、今年度のデータと対照群のデータとを横断的に比較した。

その結果、主に次のような結果と結論が得られた。

1. 出席率は、お盆休みの時期(4回目)および学校のキャンプの日と重なった日(6回目)を除き、80%を超える出席率であった。赤ちゃんとふれあう体験が学習者である小学生にとっていかに魅力的で楽しみであったかが推測される。
2. 学習者のうち「赤ちゃんを見たことがある」者は95.2%、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたことがある」者は76.2%、「赤ちゃんにふれたり抱っこしたりしたい」者は100.0%であった。昨年度の参加者(6年生)および対照群(5年生)と比較すると、今年度の参

加者（小学4年生・5年生）は、自発的に参加を申し出たため、このプロジェクトに対する期待が非常に大きかったことが明らかにされた。

3. 「自分の家族に対するイメージ」の一人あたりの平均記述数は、プレテストで2.0、ポストテストで1.9であった。「自分の親に対するイメージ」の一人あたりの平均記述数は、プレテストで1.7、ポストテストで2.0であった。「自分が親になることに対するイメージ」の一人あたりの平均記述数は、プレテストで1.3、ポストテストで1.7であった。量的に見ると、「自分の親に対するイメージ」と「自分が親になることに対するイメージ」の記述数は、8か月間のふれあい体験によって増加したが、その変化はそれほど顕著なものではなかった。
4. 「自分の家族、自分の親、自分が親になること」に対するイメージを内容的（質的）に分類すると、体験学習によって「自分が親になることに対するイメージ」が非常に豊かなものになったことがうかがえた。ポストテストにおける学習者の回答をつなげると、「親になるということは子育てをすることであり、それは、さずかった小さな命を守り育てていくという人生の大きな仕事であり転機である。それゆえに不安や心配が伴うが、それでも学んでいかななくてはならないこと」という表現になる。
5. 「赤ちゃんの成長過程の理解」に関する回答内容を分析すると、実際に「ふれあう」ことを通して観察した経験にもとづいて、客観的・観念的なものから共感的・応答的なものに変容していた。
6. 「自分の家族、自分の親、自分が親になること」に対するイメージに関して、昨年度データと今年度データを量的に比較すると、今年度の学習者のほうが昨年度の参加者に比べて、「自分の親に対するイメージ」「自分が親になることに対するイメージ」の回答数が長期のふれあい体験学習によって向上したと結論づけられる。しかし、今年度データと対照群データとを量的に比較すると、いずれのイメージにおいても対照群のほうが、回答数が多い傾向が見られた。
7. 「自分の家族、自分の親、自分が親になること」に対するイメージに関して、昨年度データと今年度データを質的に比較すると、顕著な変化は、昨年度・今年度ともに「自分が親になることに対するイメージ」にあらわれた。両年度とも、プレテストの時点ではそれほどポジティブな回答は多くなかったのに対し、ポストテストのときにはポジティブな回答が増加した。今年度のほうが、それが増加した割合が若干高くなっていた。また、これらのイメージに関して、今年度データと対照群データとを質的に比較すると、すべてのイメージにおいて、長期的なふれあい体験をした小学生のほうがそれを体験していない小学生よりもポジティブに回答する傾向が顕著であった。これらから、長期の赤ちゃんふれあい体験学習は「自分が親になること」を肯定的にとらえさせる効果をもつと結論づけられる。
8. 「赤ちゃんの成長過程の理解」に関して、今年度の参加者の記述数は、プレテストのときを基準とすると、ポストテストにおいて12項目中11項目が増加していた。また、これら12項目に関して、ポストテストの段階の「記述数の割合」および「ポジティブな記述数の割合」を、昨年度データと今年度データとで比較すると、今年度データの方が高い項目が多かった。ここから、今年度の学習者（4～5年生）のほうが、昨年度の学習者（6年生）よりも、赤ちゃんの成長過程に関する理解やそれに対する肯定的な気持ちが高いことが、すなわち、昨年度の単発的な「ふれあい体験学習」よりも今年度の長期的・継続的な「ふれあい体験学習」のほうが効果的であったことが明らかにされた。さらに、これら12項目に関して、今年度データと対照群データとを比較しても、今年度の学習者（4～5年生）のほうが対照群の学習者（5年生）よりも、赤ちゃんの成長過程に関する理解やそれに対する肯定的な気持ちが高いこと、すなわち、今年度の長期的・継続的な

「赤ちゃんふれあい体験学習」は、それをまったく受けない場合よりも効果的であったことが明らかにされた。

9. 「自分の家族、自分の親、自分が親になること」に対するイメージおよび「赤ちゃんの成長過程の理解」に関して、昨年度データと今年度データのプレ・ポスト間の増減を比較すると、今年度の学習者である小学4年生・5年生のほうが、昨年度の学習者である小学6年生よりも、回答数の増えた項目が有意に多かった。すなわち、昨年度の単発的な「ふれあい体験学習」よりも今年度の長期的・継続的な「ふれあい体験学習」のほうが、記述数を高める上で効果的であったと結論づけられる。

2007年度は、今年度に引き続き、今回の参加者であった小学4年生・5年生（来年度は5年生・6年生になる）に継続的に今年度にふれあった赤ちゃん（来年度は1歳児になる）と隔月でふれあいを経験できるようにし、その効果をさらに長期的に検証する予定である。さらに、2007年度には、中学生と0歳児とのふれあい体験学習（「あーち」における8か月・7回連続シリーズ）を計画しており、この長期的・継続的プログラムが中学生の「親や家族や自分が親になることに関するイメージ」「赤ちゃんの成長過程に関する理解」「共感性」にどのような影響を与えるのかを検討する予定である。

---

#### <資料1>

#### 昨年度・小学6年生（n=66）の赤ちゃんの発達に関する回答結果（2005年度）

##### ◆「赤ちゃんが生まれること」に関する集計結果（回答数64 未記入6）

##### 女子（回答数34 未記入2）

すごくうれしい いいこと たいせつな事 命がふえて+うれしい すごい事 とてもすごいことだと思う 世界の人口が増える みんながよろこぶ めでたい事 未記入 親にとってうれしいこと 未記入 人口が増える いいこと うれしい すごいこと いいこと うれしいことだと思う うれしいこと うれしい+めでたい 新しい命がうまれる 少子化とか言われているからとっても良いこと また一つの命が生まれるという事 うれしい事 命がうまれること+すごい すごいこと うれしい とてもうれしいこと うれしい 新しい命の誕生だ めでたい+喜ぶこと うれしい

##### 男子（回答数30 未記入4）

うれしこと 人口がふえる いいこと いいこと 未記入 うれしくて+たいへんそう うれしい 男女生まれる 家族が増えて+良いことだ 未記入 新しい人が増える おめでたいこと 新しい命が生まれる 未記入 だれか死ぬ 未記入 すごい命の大切さがわかる うれしい 生命のたんじょう 命の誕生 うれしい うれしい 新しい命がうまれるという事 神秘的 いいこと うれしい うれしい いい事 うれしいこと 生命の誕生 いいこと めでたい おめでたい

##### ◆「おっぱいを吸う赤ちゃん」に関する集計結果（回答数47 未記入20）

##### 女子（回答数23 未記入10）

かわいい 未記入 かわいい いっしょうけんめいで+かわいい 未記入 未記入 おもしろい 未記入 未記入 未記入 ごはんたべたくないのかなー？ かわいい 未記入 元気に育つように かわいい 未記入 かわいい 未記入 かわいい かわいい おいしい！+ミルクを飲むとすぐねちゃうね！ 幸せそうにしている うれしそう 幸せそう 大きくなってほしいと思う いっぱいのんでほしい 健康 おなかが減っていた？ 未記入 幸せそう 幸せそう かわいい

**男子 (回答数 24 未記入 10)**

未記入 はらへったよー しらない かわいい 未記入 かわいい いいなあー 未記入  
未記入 未記入 未記入 ちよっときもい これから先への準備中 栄養をとっている 未  
記入 はらへってる 腹がすいている ほかのものをたべれるようになってほしい 未  
記入 未記入 かわいい はらがへっていた かわいい かわいい もっと吸っておお  
きくなれよ びみょう かわいい かわいい かわいい 肉はうまいぞ ねむそう 未  
記入 未記入 しずか かわいい

◆「泣いている赤ちゃん」に関する集計結果 (回答数 70 未記入 9)

**女子 (回答数 38 未記入 3)**

かわいい 声大きい 何かを伝えようとしている どうにかして泣きやませたい ち  
よっとうるさい 未記入 うるさい 何かを伝えたい 何かうたえている かわいい  
+少しうるさい 言いたいことが言えなくて困っていると思う 自分まで悲しくなりそ  
う ちとうるさい 何かあって泣いているのだ 少しこまる 少しかわいい+かわいそ  
う 少しうるさい+かわいい 未記入 かわいい どうして泣いているのか+不安にな  
る どうして泣いているの? 新鮮な感じ+何を言っているのか知りたい かわいい  
かわいい+ちょっと困る 泣きやんでほしい+何で泣いているのか知りたい あやすの  
が大変 お腹がすいている? 何かを伝えようとしている びっくりする 何かを伝え  
たい 何かを求めている かわいそう+かわいい

**男子 (回答数 32 未記入 6)**

何かをたのんでいる うるさい かわいそう あんまり泣いてほしくないから泣きやん  
でほしい 未記入 どれをすればいいか分からない びみょう 元気 未記入 うるさ  
い ちよっとびびる 理由がわからん 何かをしてほしい 未記入 うるさい なにか  
あったとき ちよっと困る 未記入 声は大きい+かわいい とてもうるさい 悲しそ  
う 未記入 うるさい 泣くな+うるさい+がんばれ あわててあやしたりする かわ  
いそう うるさいと思うときもある かわいい かわいい+うるさい ちよっとうるさ  
い 未記入 元気がいい うるさい かわいそう

◆「笑っている赤ちゃん」に関する集計結果 (回答数 66 未記入 4)

**女子 (回答数 34 未記入 1)**

かわいい かわいい ごきげん かわいい+遊んであげたい かわいい かわいい かわ  
ええー! かわいい うれしい かわいい とてもうれしいことがあったんだと思う  
かわいい かわいい 未記入 かわいい とってもかわいい すごくかわいい かわい  
いなあと思う めちゃめちゃかわいい かわいい みんなも笑顔になる かわいい+見  
ている時に笑ってくれたら、すごくうれしい かわいい かわいい すごくかわいい  
かわいい きげんがいいのかな? とてもかわいい うれしい かわいい 平和+楽し  
そう とてもかわいい

**男子 (回答数 32 未記入 3)**

よろこんでいる かわいい かわいい とてもかわいい 面白い かわいい かわいい  
おもしろいから 未記入 かわいい かわいい 喜びを知った者 かわいい 未記入  
かわいい うれしい かわいい かわいい かわいい かわいい たのしそう かわい  
い かわいい 楽しいな+将来はもっと楽しいぞ 可愛い かわいい かわいらしい  
かわいい かわいい かわいい 未記入 かわいい かわいい かわいい

◆「ねんねしている赤ちゃん」に関する集計結果 (回答数 65 未記入 4)

**女子 (回答数 31 未記入 1)**

かわいい かわいい 体を休めている きもちよさそう かわいい かわいい かわ  
い 気持ちよさそう ねている かわいい まわりが静かで安心しているんだろう

なー かわいい ほっぺをつまみたくなる 未記入 かわいい すごくかわいい かわいい かわいいなあと思う かわいい かわいい 気持ちよさそう いろんなことを考えながらねているのかなって思う かわいい かわいい すごくかわいい かわいい かわいい かわいい かわいい リラックス 何を考えているのだろう かわいい

#### **男子** (回答数 34 未記入 3)

しずか かわいい かわいい いっしょにねたくなる 未記入 泣くのが心配 それもかわいい ずっとねてる 起こさないようにする ふつう かわいい ねぞうが悪い かわいい 未記入 ねむい ねむたい かわいい かわいい 気持ちよさそう+かわいい ととてもかわいい 気持ちよさそう かわいい かわいい ぐっすりねる+泣くためのエネルギーためて かわいい かわいい ととてもかわいい かわいい かわいい かわいい 未記入 気持ちよさそう しずか+突然泣き出す かわいらしい

#### ◆「おむつをしている赤ちゃん」に関する集計結果 (回答数 45 未記入 24)

##### **女子** (回答数 20 未記入 13)

かわいい ちっちゃい 未記入 まだ生まれたてぐらい 未記入 未記入 普通やろ 未記入 まだ赤ちゃん 未記入 (今からでも) ハイハイして外の世界に行きたいと思っているのかな? まだちっちゃいなあ 未記入 未記入 未記入 未記入 かわいい かわいいなあと思う かわいい 「もっと大きくなれー!」(応援したくなる) 歩きにくい? +もぞもぞする? 赤ちゃんだなんてあらためて思う はやく自分でトイレに行けるようになってほしい かわいい 未記入 モッコとしている 未記入 赤ちゃんらしい 未記入 頑張っている 未記入 かわいい

##### **男子** (回答数 25 未記入 11)

未記入 未記入 知らない ちょっときたない+かわいい 未記入 よく分からない びみょう 未記入 未記入 ふつう 変 修行中 ふつう 未記入 くさい 便をした まだ小さいなあ 未記入 未記入 成長した まだまだ 未記入 かわいい つかはずれる+それまでファイトー びみょう かわいい 赤ちゃんらしい かわいい トランクスにかえた方がいい 赤ちゃんらしい 未記入 いきいきしている 未記入 まだ小さいんやな

#### ◆「ものにつかまって立とうとしている赤ちゃん」に関する集計結果

(回答数 65 未記入 3)

##### **女子** (回答数 31 未記入 1)

かわいい えらい もう少しで立つことができる 「がんばれ!」って応援したくなる 一生懸命 がんばっている すげえ! がんばっている どこかに行こうとしている がんばっている 自分からお母さんの方へ行きたいと思っているのかな? 「がんばれ」と応援したくなる 未記入 がんばって立とうとしている かわいい 早く立てるようになるといいな かわいい がんばっているからすごいと思う がんばれと思う 「もっと大きくなれー!」(応援したくなる) 自分が手助けせずに見ていたい がんばれって応援したい がんばって歩くようになってほしい 一生懸命 がんばれ!! がんばれと思う がんばっている がんばっている 「がんばれ!」と応援したくなる 頑張っている 必死 すごい

##### **男子** (回答数 34 未記入 2)

がんばっている がんばれよー かわいい がんばって立ってほしい 未記入 がんばりや カッコいい もうすぐ自分で歩ける 「がんばれ!」と応援する ふつう がんばれ がんばり者 がんばっている 未記入 好奇心旺盛 がんばっている がんばっているなあと思う かわいい がんばれ とてもいい がんばっている がんば

っている かわいい がんばれいつかできるから かわいい かわいい がんばっている+かわいい 応援したい がんばれ がんばっている がんばれ がんばろうとしている かわいい+おもしろい 「がんばれー」

◆「はいはいをしている赤ちゃん」に関する集計結果（回答数 59 未記入 7）

女子（回答数 28 未記入 4）

かわいい すごい 自分で行動できる こっちに来てほしい かわいい 未記入  
すげえ 未記入 どこかに行きたがっている がんばっている 外へ出たいと思っ  
ている（多分） かわいい かわいい 未記入 かわいい がんばって歩けるようにな  
ってほしい かわいい すごいと思う かわいい こんなに立派になったなあと思  
うもうすぐ歩けるようになるね これも赤ちゃんだなんてあらためて思う はやく立  
てるようにならないかなあと思う かわいい かわいい かわいい かわいい かわ  
い 未記入 かわいい 楽しそう すごい

男子（回答数 31 未記入 3）

元気 すごい かわいい かわいい 未記入 がんばっている がんばれー まだ立  
つことはできない 何かにつつからないように、前に障害物を置かないようにする ふ  
つう かなり成長している 元気者 歩くのと同じ 未記入 赤ちゃん 目的のど  
ころに行こうとしている 早く立ってほしいと思う かわいい かわいい かわ  
い どこかに行こうとしている かわいい かわいい いつか立てるから 可愛い かわ  
い かわいい かわいい 早く立った方がいい かわいい 早い 元気がいい 未  
記入 かわいい

◆「立って歩くようになった赤ちゃん」に関する集計結果（回答数 63 未記入 12）

女子（回答数 30 未記入 6）

かわいい すごい どこにでも行ける かわいい+すごい すごい 未記入 すげえ  
こけるんじゃないかと心配する 未記入 未記入 外へ出る+色々な物を見る+「お  
ー」みたいな事を思っている もう赤ちゃんじゃない 未記入 未記入 未記入 歩  
けるようになってよかったね かわいい すごいなあと思う 手をつないで歩きたくな  
る えらい+もっともっと大きく成長してほしい いつ、速く走れるようになるかな？  
もう立てるのかいって思う がんばったんだなあと思う 一生懸命 がんばれ  
すごい すごい 成長した やったー 頑張ったね どこまででも行ってしまいそう  
すごいよー

男子（回答数 33 未記入 6）

元気 すごい おめでとう かわいい 未記入 未記入 それもかっこいい 自由に  
歩ける 外に出る+いろいろな所を歩いて散歩してあげる ふつう 大人に近づいた  
成功者 未記入 未記入 えらい 未記入 もう一人前やなあと思う よちよちして  
いる+かわいい すごい（よくやった） がんばれ 秀才 すごい 成長したな す  
ごいすごい+成長だ 可愛い かっこいい 赤ちゃんぽくなくなってきた やんちゃ+  
かわいい 次は背を高く すごい 未記入 すごい すごい おーすごい+立っ  
てる

◆「モノをなめる赤ちゃん」に関する集計結果（回答数 49 未記入 16）

女子（回答数 23 未記入 8）

かわいい かわいい 何かを確かめている モノで遊べるようになっている きた  
ない 未記入 きたない 未記入 興味を持つ 未記入 モノっておいしいのかな？  
かわいい かわいい？ 未記入 未記入 なめないほうがいいと思う かわいい  
未記入 ダメ！と言いたくなる かわいい それよりもっとおいしいものがある な  
めたらきたないものもあるよって思う 未記入 あぶない あぶない物はだめだよ！

いけない 歯がかゆいのかも！？ まだやっぱり赤ちゃんね 未記入 何かを感じている 未記入 かわいい

**男子** (回答数 26 未記入 8)

きたない あぶないこと しらない かわいい 未記入 ちょっときたない きたない 未記入 おやつとかえる きたない きたない ぼっちーちー きたない 未記入 きたない 未記入 ほかのものをなめたほうがいいと思う 未記入 未記入 きもい 何だこれ？と思っている 未記入 かわいい 将来になって恥ずかしいぞー危険な物だったら、それをと取って高いところに置く きたない かわいい しかたがない きたない ちょっといや 未記入 かわいい きたない ちょっときたない

◆「『あーあー』とか『うーうー』とか言う赤ちゃん」に関する集計結果

(回答数 62 見記入 7)

**女子** (回答数 33 未記入 2)

かわいい かわいい？ 何かを伝えようとしている もう少しでしゃべれそう かわいい 未記入 変?! 未記入 何かを言おうとしている 成長した しゃべりたいけどしゃべれないから大変だなあ 何をしゃべっているのだろうと思う かわいい 言葉をしゃべろうとしている かわいい 早くしゃべれるようになるといいね かわいい もうちょっとでしゃべれるようになる+がんばれと思う しゃべっていると思う かわいい 何が言いたいの?? 何言っているのかな〜って思う 早くしゃべってほしい+かわいい かわいい かわいい かわいい すごい 何かを伝えようとしている 言葉が通じない 何かを言いたい・伝えたい 何かを言いたそう かわいい

**男子** (回答数 29 未記入 5)

何かを頼んでいる 何かを言おうとしている しらない 未記入 未記入 もうちょっとでしゃべれる 憎たらしい 何かお腹がすいたのか 「どうしたの？」など聞いてみる 気持ち悪い うるさい しゃべろうとする努力者 もうちょっとでしゃべれそう 未記入 うざい しゃべろうとしている 早くしゃべれるようになってほしい意味不明 未記入 かわいい 何かを訴えている かわいい かわいい いつかしゃべれるって かわいい ふつう うるさい かわいい うるさい ちょっとうるさい 未記入 がんばっている ちょっとうるさい なんて言っているかわからない

◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」に関する集計結果 (回答数 62 未記入 7)

**女子** (回答数 31 未記入 4)

かわいい すごい 伝えたい事が何かわかる すごい 色々しゃべってほしい すごい 未記入 すげえ+赤ちゃんは言葉って言える言葉は言わないと思う 成長したかなと思う がんばっている 大きくなった (成長) 言いたいことを言えるようになって楽しいだろうなー もうしゃべれるようになったんだーと思う 未記入 これだけ成長した 未記入 しゃべれるようになってよかったね かわいい すごいなーと思う すごいと思う うれしい 成長したと思える いっしょにおしゃべりしようね 赤ちゃんなのにしゃべるのが上手いなって思う かわいい すごい!! がんばれ すごい 天才児! 成長した 未記入 すごい すごい かしこい

**男子** (回答数 31 未記入 3)

きちんとしている この時点で赤ちゃんじゃない えらそう かしこいなと思う 未記入 うれしい あまりかわいくない もうすぐちゃんとしゃべれるようになる こちらから質問してみる 気持ち悪い すごい 一人前 ふつう かわいいと思う ちょっとうるさい 未記入 すごい 大きくなったなー すごい よし 天才 かわいい 立派 もっと上手になれよ だいが成長したなあー ふつう すごい 会話をしたい すごいなー すごい 未記入 かわいい すごい もうしゃべれるんや



<資料2>

対照群・小学5年生 (n=34) の赤ちゃんの発達に関する回答結果 (2006年度)

◆「赤ちゃんが生まれること」に関する回答結果 (回答数 31 未記入 4)

女子 (回答数 15 未記入 1)

よろこぶべきこと おめでたい うれしい 大人になるまで育てる 生命が増えること 地球上に命が増える うれしい いいこと 命が1つ増えた 地球の人間が1人増える うれしい うれしい うれしい おめでたい 未記入 うれしいかも

男子 (回答数 16 未記入 3)

新しい命が生まれる 人口が1人増える うれしい うれしい 人口が増える 未記入 未記入 めでたい 新しい命が誕生する 新しい命が生まれる めでたい 人間が生まれる 人が一人増える 自分にとって宝物だ 未記入 人間がまた1人増えた+よいこと すごい 初々しい

◆「おっぱいを吸う赤ちゃん」に関する回答結果 (回答数 35 未記入 1)

女子 (回答数 18 未記入 0)

のどがかわいている うれしそうだ うれしそう かわいい おなかがすいている 満足そう かわいい 元気 お母さんに甘えている 満足そう かわいい かわいい+幸せそう 幸せそう おなかがすいたのかな?+うれしそうな顔 かわいいはずかしい

男子 (回答数 17 未記入 1)

すくすく育ててほしいと思う 赤ちゃんにしかできない かわいい 静か 分からない 未記入 生きる 生きる それが「めし」 甘えている さあ・・・ 分からない ご飯を食べるのと同じ すぐ寝ると思う このあとたぶん寝る 健やかでふつうの赤ちゃん 静かにしとく いやしんぼ

◆「泣いている赤ちゃん」に関する回答結果 (回答数 38 未記入 0)

女子 (回答数 18 未記入 0)

元気な子 うるさい 心配 うるさい いやなことがあったから・・・? うるさい きげんがわるい 心配 お母さんが赤ちゃんの視界からいなくなっているから うるさくて+うっとうしい かわいい うるさい+大きな声 おなかがすいた+どこかが痛い どうしたのか気になる かわいい うるさそう

男子 (回答数 20 未記入 0)

かわいそうだと思う かわいい+けど、めいわく かわいそう うるさくて+かわいい うるさい うるさい うるさい 人を呼ぶ かわいそう うるさい うるさい うるさい 元気だという証拠 少しうるさい このあとたぶん寝る 元気な証拠 何かをあげる 心配する

◆「笑っている赤ちゃん」に関する回答結果 (回答数 34 未記入 1)

女子 (回答数 17 未記入 0)

明るい子 楽しそうだ かわいい かわいい うれしいから かわいい かわいい かわいい ちよっとかわいい かわいい かわいい 楽しそう 楽しそう+かわいい 一緒に遊びたくなる 楽しそうに笑っていそう

男子 (回答数 17 未記入 1)

うれしそうで良かったと思う かわいい うれしそう かわいい 楽しそう まあまあ かわいい 人を集める うれしそう かわいい かわいい うれしそう うれしい かわいい 未記入 将来良い子になると思う あやす かわいい

◆「ねんねしている赤ちゃん」に関する回答結果 (回答数 34 未記入 1)

**女子（回答数 17 未記入 0）**

静かにする 静かだ かわいい どんな夢を見ているか気になる 気持ちいいということ 静か かわいい かわいい 夜泣きがひどい 静かで+気持ちよさそう とてもかわいい 幸せそうに寝ている 気持ちよさそう 寝顔がかわいい かわいい 気持ちよさそう

**男子（回答数 17 未記入 1）**

疲れたんだねーと思う かわいい かわいい とても静か うらやましい うるさくない 静か 静か 疲れている 気持ちよさそう 寝相が悪い 寝ている 夢を見ている 顔がかわいい 未記入 なんとなくかわいい 静かにしておく いやされる

**◆「おむつをしている赤ちゃん」に関する回答結果（回答数 34 未記入 0）**

**女子（回答数 16 未記入 0）**

まだなれてない トイレに1人では行けない トイレに1人ではいけない かわいい まだあんまり理解できていない トイレにいけない 赤ちゃんだなーと思う トイレにいけない 1歳ぐらい 自分でトイレにいけない かわいい 赤ちゃんらしい・・・ かわいい 「まだトイレにいけないのかな」と思う かわいい かわいい感じがする

**男子（回答数 18 未記入 0）**

生きてる証拠 大人にはできない 成長している まだ小さいなと思う よく分からない くさくてイヤだ 未熟 未熟 これから成長してパンツをはく 甘えている トイレに行けない もらしている まだトイレにいけない まだかわいい きわめて危険 少し成長した証拠 遊ぶ（見たことないから）分からない

**◆「ものにつかまって立とうとする赤ちゃん」に関する集計結果**

（回答数 33 未記入 1）

**女子（回答数 16 未記入 0）**

きけんな子 がんばっている がんばっている 「がんばれ！」と声をかけてあげたい 自分でがんばろうとしている がんばっている がんばっている がんばっている 足の力が強い えらいなあ～ 「がんばれ」と言いたくなる がんばっている おもしろい 「がんばれ！」と思う かわいい 「がんばれ！」と思う

**男子（回答数 17 未記入 1）**

大人に一步近づくこと がんばっている がんばって欲しい 一生懸命に努力していると思う がんばっている あかんやんか～ 力持ち 未熟 がんばっている がんばっている 大河ドラマの主人公みたい 立てそう がんばれと思う 「がんばれ」と思う 未記入 きっと必死にがんばっていると思います 応援する 応援したくなる

**◆「はいはいをしている赤ちゃん」に関する回答結果（回答数 33 未記入 1）**

**女子（回答数 16 未記入 0）**

まだ歩くことを知らない 運動をしている 運動中 かわいい もうすぐ歩くということ いっしょうけんめい かわいい かわいい いたずらしほうだい 疲れそう かわいい すごいと思う 楽しそう かわいい 進むのがはやい のろのろしてそう

**男子（回答数 17 未記入 1）**

何かを目指している 赤ちゃんらしい 成長している かわいい 早く立ってって感じ 見たことない まだまだ うま(馬) これから自分で立てるようになる がんばっている かわいいい 立てそう 小さいなと思う モノを転がすと追いかける

る 未記入 きっと必死にがんばっていると思います 見ておく 腕が丈夫

◆「立って歩くようになった赤ちゃん」に関する回答結果（回答数 32 未記入 2）

女子（回答数 16 未記入 0）

成長した すばらしい すごい いろんな所へ行く 自分で立つということに意義がある 一歩前に進んだ(成長した) うろうろしていて危ない 成長している 買い物についていく えらい かわいい すごいと思う 成長している がんばったんだなーと思う がんばっている まあまあかわいい

男子（回答数 16 未記入 2）

大人に近づくということ すごいと思う 未記入 あちこち行くから面倒 すごい 楽になる 立派 立派 成長した えらい えらい シャベレそう 成長した 自分についてくるかも 未記入 2 かなり成長した 見ておく 初々しい

◆「モノをなめる赤ちゃん」に関する回答結果（回答数 33 未記入 2）

女子（回答数 15 未記入 1）

きたない モノを食べ物と思い込んでいる 飲み込まないか心配 かわいい 食べられるものと食べられないものを知ろうとしている 食べたそう 危ない モノを取り上げる 離乳食を食べている ばい菌が口に入りそう よだれが出てかわいい 未記入 ちょっと変 なぜなめるのか不思議 かわいい きたない

男子（回答数 18 未記入 1）

やめさせないといけない きたならしい がんばったと思う ばい菌が入らないか心配 モノがきたなくなる ほっておく 未熟 おしおき まだ成長していない きたない きたない 分からない そのモノが何かを分かっている かわいいけど+モノがべちゃべちゃ 未記入 まだ幼い感じがする やめてほしい いやしんぼ

◆「『あーあー』とか『うーうー』とか言う赤ちゃん」に関する回答結果

（回答数 35 未記入 1）

女子（回答数 17 未記入 0）

かわいー 言葉をしゃべろうとがんばっている かわいい 何を言っているか分からない もうすぐしゃべれる しゃべれない なんかかわいい しゃべる第一歩 もうすぐ言葉をしゃべれるようになる 言葉を覚えようとしている うるさいけど+かわいい すごくかわいい かわいい 「しゃべりたいのかな」と思う かわいい めちゃかわいい

男子（回答数 18 未記入 1）

何か言いたそう かわいい しゃべりたそう うるさいけど+かわいいから怒れない 意味不明 しばく どうでもいい どうでもいい じきに言葉をしゃべるようになる 甘えている ちゃんとしゃべってほしい しゃべれそう かわいい 一生けんめいである 未記入 少し成長した 何を言っているか分からない 言葉を教えたくなる

◆「ことばをしゃべる赤ちゃん」に関する回答結果（回答数 33 未記入 1）

女子（回答数 16 未記入 0）

自分の名前も言える もうすぐ幼稚園 もうすぐ幼稚園？ かわいい しゃべっていいことといけなことを区別できるようになる えらそうに言う すごい 成長している 次にえんぴつで書くことを覚える やっと言葉を覚えたんだ すごくかわいい すごいなと思う ふつう すごい 面白い あんまりかわいくないと思う

男子（回答数 17 未記入 1）

かわいい ちょっとうるさい かなり成長した 少し何を言っているのかわからな

い 赤ちゃんじゃない 会話する 立派 すごい すごい かしこい すごい す  
ごい すごい じきに生意気になる 未記入 すごく成長した証拠 すごい 成長  
している

---

#### 文献等（引用順）

- 1) 寺村ゆかの・川谷和子・伊藤篤（2007）地域連携にもとづく次世代育成プロジェクト  
「赤ちゃんふれあい体験学習」の短期的効果に関する研究 保健の科学 第49巻 第1  
号 71-77 杏林書院
- 2) 子ども家庭支援部門 2005年度 神戸市委託事業報告書  
<http://www.research.kobe-u.ac.jp/hudev-hc/nadaresearch.pdf>
- 3) Roots of Empathy <http://www.rootsofempathy.org/Research.html>

#### 本プロジェクトにかかわった組織および人々

神戸市灘区保健福祉部／灘区小学校長会（神戸市教育委員会）／神戸大学大学院総合人間  
科学研究科・ヒューマンコミュニティ創成研究センター・子ども家庭支援部門

宮木 昭（神戸市灘区保健福祉部子育て支援担当・主幹）

安藤 康一（ろっこう医療生活協同組合・医師）

松岡 保幸（ろっこう医療生活協同組合・組織保健課長）

川谷 和子（神戸大学ヒューマンコミュニティ創成研究センター研究協力員）

奥野 綾子（元幼稚園教諭）

寺村ゆかの（神戸大学大学院総合人間科学研究科発達支援論コース院生・助産師）

高田オリエ（神戸大学発達科学部・健康発達論コース学部生・看護師）

中山 明子（神戸大学発達科学部・健康発達論コース学部生）

村田 紗季（神戸大学発達科学部・児童発達論コース学部生）

大本 綾奈（神戸大学発達科学部・教育科学論コース学部生）

そ の 他 神戸大学発達科学部の学部生のみなさん

伊藤 篤（神戸大学大学院総合人間科学研究科発達支援論講座・教員）

#### 付記

赤ちゃんふれあい体験学習に参加してくれた小学生の皆さん、ありがとうございました。  
また、協力いただいた赤ちゃんとお父さん・お母さんにも深く感謝いたします。なお、こ  
のプロジェクトは、神戸市から「平成18年度 命の感動体験学習業務委託」として助成金  
を受けて実施されたものです。